

この調査は、水の中にどのような物質（成分）がどれくらいあるかを測定し、その結果から河川の状態を調べようとするものです。

項目によっては、現地で簡単に結果を出すことができます。

## 1. 調査のための準備

### a) 水質調査に必要なもの

- ・野帳（記録用紙）：現地で行なった調査結果を書き入れます。  
かたい表紙で方眼入りのものが便利です。
- ・筆記用具：エンピツ、ボールペン、マジックインキ
- ・採水用具：バケツ、荷作り用ロープ、柄付きポリカップ、  
柄の長いひしゃく
- ・採水びん：ポリびん、ガラスびん、（500cc ～1ℓ程度のび  
んでよく洗ったもの）
- ・温度計：50℃まで測れるもの
- ・バックテスト（各種）

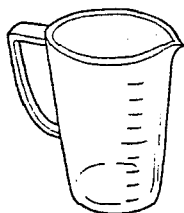
・その他

巻尺、カメラ、長靴、透視度計

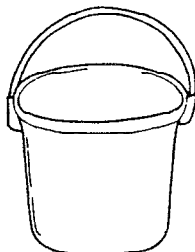
b) あると便利なもの

・アイスボックス、氷：採水した水を冷やしておきます。

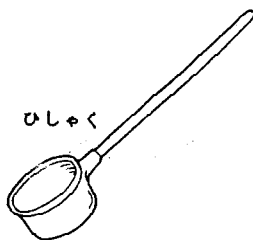
(調査が長時間におよぶ場合使用します。)



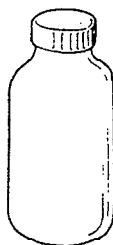
柄つきポリカップ



バケツ



ひしゃく



ポリびん  
ガラスびん

2. 水を調べる

a) 採水をします。

- 1) 調査する地点に到着したら、まず野帳(記録用紙)に地点名、月日、時刻、その地点の状況などを記入します。